

第26回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成26年1月

応募者名: 岐阜県 岐阜土木事務所 都市整備課

事業の名称: 都市計画道路 新所平島線(徳田工区)

実施都市名: 岐阜県羽島郡岐南町

事業目的

名古屋市方面への重要なアクセス道路である本線の現道は、名鉄名古屋本線とJR東海道本線で分断され、交通渋滞が慢性的に発生している。

当該整備は、本路線の高架化により名古屋鉄道との立体交差を行い、渋滞緩和及び交通円滑化を図ることを目的とする。

事業概要

事業名称:社会資本整備総合交付金

路線名:都市計画道路 新所平島線(徳田工区)

事業箇所:岐阜市東川手～羽島郡岐南町徳田

事業延長:1.1km

幅員:22m

事業費:約80億円

事業実施期間:平成13年～平成24年

主要構造物:名鉄高架橋 橋長L=196.7m

本事業は、国道21号を補完し、岐阜市南部の東西道路軸を強化するため、渋滞緩和と交通の円滑化を目的とした道路改良事業である。

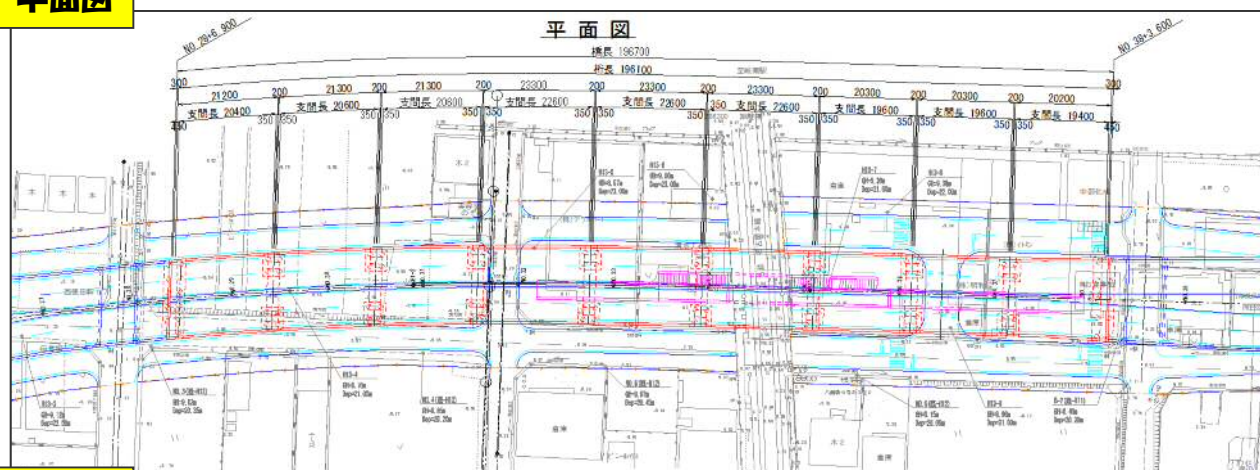
4車線化及び高架化により、周辺道路の渋滞が解消され、岐阜中央卸売市場などの商業施設と岐阜各務原ICや国道22号線との連絡が強化された。また、両側に歩道を設置することで安全で快適な歩行空間を確保した。

事業位置図

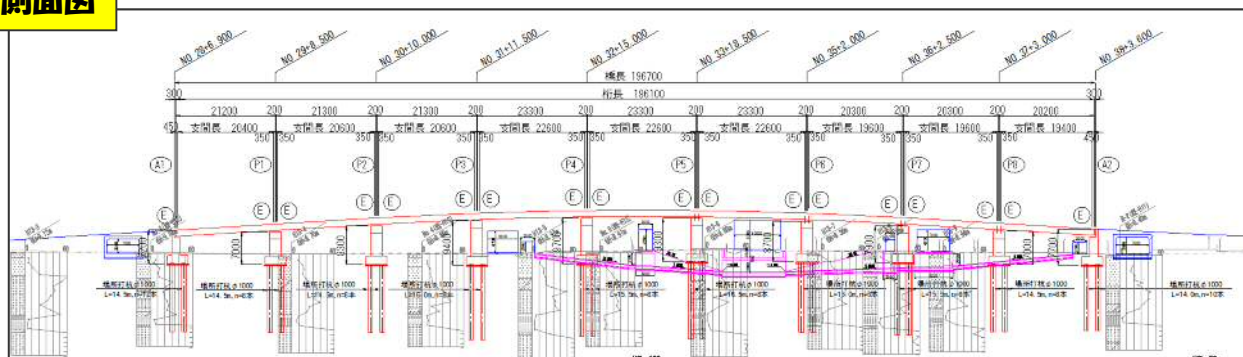


全体図(平面図・側面図・横断面図)

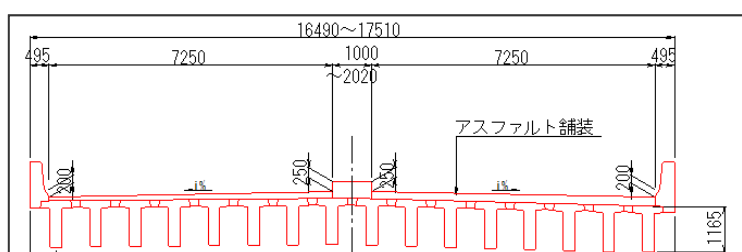
平面図



側面図



横断面図



(都)新所平島線【徳田工区】の整備効果アピール資料



踏切の除却（立体交差化）により円滑な交通が確保された。

○事業概要

事業名：都市計画道路 新所平島線（徳田工区）
路線名：都市計画道路 新所平島線（徳田工区）
事業箇所：岐阜市東川手～羽島郡岐南町徳田
事業延長：1.1km
幅員：22m
総事業費：約80億円
事業期間：平成13年度～平成24年度

○交通量調査結果

供用前 実測
供用後 実測
・交通量の推移

調査準備中

「整備効果」

- 名鉄名古屋本線との踏切が立体交差されることによる交通の円滑化
- 両側に歩道設置したことで、安全で快適な歩行空間の確保
- 一般県道 岐阜岐南線と国道22号との交差点から岐阜県庁付近まで現道を通行した場合、所要時間で通常約30分掛かっていたところ、新所平島線4車線開通後は約20分になり、約10分時間が短縮

「その他の事業効果」

- 本路線の整備により、今後、沿道を利用した市街地の活性化が期待される。

事業前写真

平成19年5月撮影



平成20年3月撮影

平成20年3月撮影



事業後写真

平成25年12月撮影



平成25年10月撮影



平成25年10月撮影



平成25年10月撮影



平成25年10月撮影

